

部局名	消防本部	所属名	消防署	所属長名	中込 孝一	電話	459-2441
-----	------	-----	-----	------	-------	----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3364	事務事業名称	救助活動事業				短縮コード	経常	3364	臨時		
予算区分	会計	01	一般会計	款	09	消防費	項	01	消防費	目	01	常備消防費
区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等	消防組織法・消防法・消防力の整備指針								
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
中高層建物の増加により,昭和47年に救助隊を配置した。必要な資機材を装備し,火災等の災害から人命を救助することを目的とする。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱 (章)	03	安全・環境共生都市をめざして					
災害が複雑大規模化している現状から,ウォーターカッター (水圧カッター) や大型排煙機など高度資機材の整備を図り都市型災害に備えるとともに, 消防力整備指針にもとずき東消防署に救助隊を増強する必要がある。					大項目 (節)	01	市民の安全					
					中項目	02	消防					
					小項目 (施策)	03	救急・救助体制の充実					
					細項目	01	救急・救助体制の整備					
					実施計画の計画事業							
計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>		計画事業期間	平成19年4月 ~ 平成20年3月		計画事業費	千円					

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	市内で生じた要救助者						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成18年度に実際に行ったこと: 各種災害に出動し, 要救助者を救助した。又, 各種救助資機材の整備を図るとともに, 資機材を使用しての水上, 陸上における救助現場を想定した訓練, 研修を実施した。 ※平成19年度に計画していること: 18年度と同様であるが, 更に都市型災害対応資機材の取り扱い研修を実施する。						
意図 (何を狙っているのか)	災害発生時, 要救助者が容態を悪化させずに, 迅速, 安全に救出される。						
結果 (どんな結果に結びつけるのか)	入力対象外						
区分	指標	内容	単位	17年度	18年度		19年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	出動件数	件	60	120	54	60
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	活動件数	件	19	45	29	30
	指標2	救助人員	人	18	45	28	30
	指標3						
成果指標	指標1	救助率	%	100	100	100	100
	指標2	平均到着時間	分	4.3	4	6.5	6
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3364	事務事業名称	救助活動事業	所属名	消防署		
	単位	17年度		18年度		19年度	
		実績	計画	実績	計画	計画	
事業費(A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0
		県	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	823	680	773	814
		その他	千円	0	0	0	
主な事業費の内訳		災害用救助資機材の整備及び維持管理費		手数料 318,000 修繕料 200,000	災害用救助資機材の整備及び維持管理費	災害用救助資機材の整備及び維持管理費	
人件費(B)		千円	196,726.2	165,490	195,443.7	165,490	
トータルコスト(A)+(B)		千円	197,549.2	166,170	196,216.7	166,304	

3. 事務事業の評価(SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結び付いている <input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外事項	「法定受託事務」のため評価対象外
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 達成していない <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外事項	「法定受託事務」のため評価対象外
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある <input type="checkbox"/> 可能性はない <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外事項	「法定受託事務」のため評価対象外
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input type="checkbox"/> 現状のままでよい <input type="checkbox"/> 見直す必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外事項	「法定受託事務」のため評価対象外
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある <input checked="" type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある <input type="checkbox"/> 両方可能性はある <input type="checkbox"/> 可能性がない	<p>救助現場における有効性や効率性の指標である平均現場到着時間は、年々増加しているが、救助隊は1隊で市内全域に出場していることや、発生現場はそれぞれ状況が異なるため、時間の長短だけで一律に評価することは困難である。しかし、普段から市域の交通情報を把握し、有効な出場経路の選択をするなどして極力到着時間の短縮に努める。</p> <p>また、安全で操作しやすい効率性の高い救助資機材の整備を行うとともに、将来東消防署に「消防力の整備指針」に基づき救助隊を設置することを視野に入れて、必要資機材を整備し、消防隊員に研修訓練を積み、救助事案に対応できる体制を整え、救助隊2隊体制に準じた体制とし、効率性を高める。</p>
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	走行訓練等を通じ、普段から道路交通情報の把握に努め、安全で最短な出場経路について随時検討して現場到着時間の短縮を図る。 又、消防ポンプ車にも救助資機材を整備し、定期的に救助隊と合同で、様々な災害現場を想定した資機材取扱い訓練を実施し、救助隊到着までに迅速適切な初動対応をとる。これらに加え「消防力の整備指針」の基準のとおり、国道16号を抱える東消防署に特別救助隊を設置し、市域を2分して現場到着時間、救出時間の大幅な短縮を図る。
		<input type="checkbox"/> 臨時的任用職員等の活用	
		<input type="checkbox"/> IT化等業務プロセスの見直し	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し		
<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し	類似事務事業名称 1	実施主体(所管部署)	
<input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の方法	2	実施主体(所管部署)	
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	複雑多様化、大規模化する災害に、安全的確に対応するためには、救助隊の適正配置や資機材の整備、職員の教養訓練の充実が必要で経費増はいなめない。	

コード	3364	事務事業名称	救助活動事業			所属名	消防署																					
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他		今後も災害用救助資機材の整備充実に努めるとともに、様々な救助現場を想定した訓練を実施して、現場到着時間の短縮を図り、要救助者の容態を悪化させずに、安全迅速に救助するよう努める。同時に、救助隊2隊体制を見据えた資機材整備及び救助隊員以外の消防隊員の教養訓練を実施し、消防隊員による初動の円滑な救助を目指す。																							
			<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続																									
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経 費</th> </tr> <tr> <th>削 減</th> <th>不 変</th> <th>増 加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不 変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>				経 費			削 減	不 変	増 加	成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	救助隊の増設により、経費を上げれば成果が上がる。	
		経 費																										
		削 減	不 変	増 加																								
成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																								
	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																								
	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																								

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
なし	

所属長コメント	救助活動事業の目的は、1分でも早く現場に到着し、要救助者の容態を的確に観察の上、要救助者の安全な救出方法を即時に判断して迅速に救出し、救命率を高めることである。そのためには、救助隊員は、日頃から救助知識を吸収し、的確な観察力と、より高度な救命技術の習得に努めなければならないとともに、千葉県消防学校において救急資格を所得させることも検討する必要がある。	
評価調整委員会意見	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続	有効性・効率性の手段について経費の増加との関連を検証し出来るものから順次改革・改善を実施すべき。